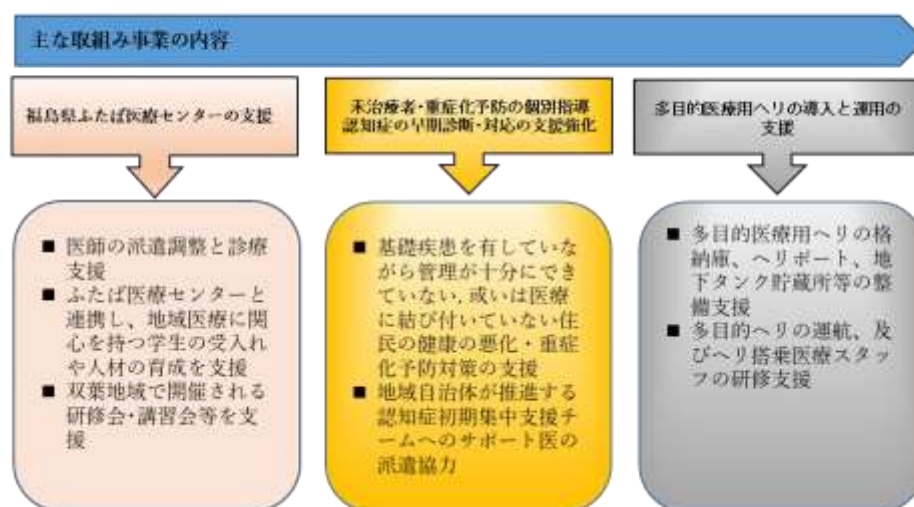


福島県立医科大学「ふたば救急総合医療支援センター」による医療支援について

ふたば救急総合医療支援センター

ふたば救急総合医療支援センターは、医療機関、行政、福祉等の関係機関と連携し、「双葉地域の広域的な総合医療支援」の取組みを推進することにより、双葉地域の復興を医療面から支える

- ❑ ふたば救急総合医療支援センターは、ふたば医療センター附属病院に教員を派遣調整するとともに、ふたば医療センター附属病院と連携して双葉地域の疾病重症化予防・認知症等の対策を支援する。
- ❑ 医大附属病院は、ふたば医療センター附属病院に対して教員の派遣、遠隔画像診断等の診療支援を行うと共に、双葉地域における高度専門的医療が必要となる患者の受け入れや専門的診療を通じて、中核的高次医療機関として双葉地域医療を支援する。
- ❑ 医大は学部学生教育、医師・医療スタッフの育成、そして研究推進においてふたば医療センターと連携し、支援する。



1 ふたば医療センター附属病院への医師派遣等支援

【ふたば医療センター附属病院の医師診療体制】

○365 日救急診療を医師 3 名以上で実施

日当直医師 2 名：24 時間勤務（救急・外科医及び内科医）

業務：救急外来、救急車搬送患者への救急対応と病棟入院患者の診療（診察処置、指示入力など）、病棟担当医をサポート

病棟担当医師 1 名：日勤＋夜間オンコール待機

業務：月曜日から土曜日朝まで連続勤務。土日は別担当医が対応。病棟の入院患者の診療、入院患者の診療方針決定、患者家族等の説明を担当。

○勤務医師数

平 日／日勤帯 4～5 名、夜間帯 2 名及びオンコール対応医師 1 名

土日等／日勤帯 3 名、夜間帯 2 名及びオンコール対応医師 1 名

1) ふたば救急総合医療支援センター教員

○日当直、病棟担当（平日連続勤務、土日担当）

○診療支援

2) 派遣医師の勤務調整

○学内ふたば支援枠講座教員：日当直担当

○学外非常勤医師：土日の日当直担当

3) 勤務医師の送迎、駐在、連絡調整、緊急時対応

○日当直 10:00～翌日 10:30 (8:00 医大発、翌日 12 時 30 分医大帰着)

○病棟担当 10:00～15:00 夜間は富岡宿舎にオンコール待機

2 ふたば医療センター附属病院への診療支援調整

1) 医大放射線科の遠隔読影支援

医大に設置されたふたば医療センター附属病院の情報端末により、放射線画像の評価を医大放射線科が実施(24 時間体制)

2) 医大整形外科の遠隔診療支援

骨折事例等、整形外科疾患について医大整形外科にコンサルト(24 時間体制)

3 学生教育支援調整

1) 医大医学生の地域医療実習支援

実習調整と実習指導

2) 他大学医学生の实習支援

4 地域研修会開催支援

■ INARS (心停止回避コース) 5 月 26 日 13 : 30～17 : 30

対 象 : ふたば医療センター附属病院の職員他、福島県内の医療機関勤務者

参加者 : 29 名 (うち、インストラクター 11 名)

■ PSLS (脳卒中病院前救護) 5 月 26 日 13 : 30～17 : 00

対 象 : ふたば医療センター附属病院の職員他、福島県内の医療機関、消防勤務者

参加者 : 13 名 (うち、スタッフ 6 名)

■ ISLS (神経救急蘇生) 5 月 27 日 9 : 30～17 : 00

対 象 : ふたば医療センター附属病院の職員他、福島県内の医療機関、消防勤務者

参加者 : 47 名 (うち、スタッフ 24 名)

5 双葉郡町村と連携した住民への医療支援

1) 未治療者重症化予防対策の個別指導

○ふたば医療センター附属病院を含めた三者協定書締結 (30.4.1)

2) 認知症初期集中支援チームへの支援

○認知症サポート医の派遣に関する協定書締結 (30.4.2)

○認知症サポート医の派遣に関する協定書締結に係る取り交し式 (30.4.17)

○第 1 回楢葉町・双葉町合同認知症初期集中支援チーム員定期会議開催 (30.6.13)

○第 2 回楢葉町認知症初期集中支援チーム員定期会議開催 (30.7.11)

3) 帰還先の医療機関等の相談・紹介

○双葉地域の認知症入院医療機関の相談 (30.5, 1 件)

4) 地域ケア会議等における支援

○ふたば救急総合医療支援センター担当分

大熊町地域(避難先)ネットワーク会議：3回（30年5.25,6.27,7.27）

○ふたば医療センター附属病院担当分

楢葉町（6.21）

広野町（6.6,7.4）

葛尾村（6.4,7.2）

5）行政、福祉、介護等職員に対する研修会活動

○肥満・高血圧等、健康講話の開催予定（10～2月）

6 避難住民の帰還に向けた医療等提供体制の周知等

1）糖尿病等、疾患予防対策の健康づくり支援

○今後の予定：生活習慣病等に関する健康相談予定（10～2月）

2）健康寿命のリーフレット・広報紙等の作成

平成30年度から双葉住民(県内避難者)とのコミュニケーションツールとして、ふたば救急総合医療支援センター取組事業及び生活習慣病等の予防対策等の啓発活動を行うため、ふたば救急総合医療支援センター広報版を発行する。

○発行回数：年4回(5発刊・9・11・3月)

○発行部数：約23,000部

○発行方法：双葉地域8町村で発行する広報紙への掲載または、広報紙への差込み

○発送方法：福島県避難者支援課ゆうメール等を活用

○掲載テーマ

5月「双葉地域の医療体制整備に向けて」

健康寿命シリーズNO1「福島県における健康増進への取り組み」

9月 健康寿命シリーズNO2「糖尿病・骨粗鬆症対策」

3）避難地域医療機関等の診療状況等の周知

○地域ケア会議等において資料提供（大熊町 30.5.25）

7 多目的医療用ヘリの運航へ向けた準備支援

1）多目的医療用ヘリ格納庫の整備

2）多目的医療用ヘリ運航へ向けた準備